

連載

循環器ナースのための

カテーテル講座

～ 指導する側・される側 Win/Win カテ室看護 ～

執筆 澤海綾子 (新久喜総合病院 看護部 副主任)

第11回 デバイスについて知ろう

今回の 内容	シースの仕組み, 診断カテーテルとガイディングカテーテルの種類
	ガイドワイヤーの役割
	バルーンとステントについて



新人さんの
目標

CAG/PCI で使用する
デバイスの目的を理解
しよう!



指導者さんの
目標

デバイスの特徴を
カテ中の看護に
結びつけよう!

デバイスとは？

「デバイス」とは道具のことをいいます。今回は、とくに CAG や PCI 中に使用する道具について学びます。

シース

「シースイントロデューサー」を略して「シース」と呼びます。シースは、体表から血管内に留置します。それによって出血することなくデバイスの出し入れが可能となります (図1)。

シースを挿入した後、手技が開始されます。冠動脈治療においては 6Fr. (フレンチ)※1 の径が主流ですが、4, 5Fr. の細いシースや 7, 8Fr. の太いシースも使われます。また、穿刺部位は 1カ所ではなく、2カ所にシースを挿入

することもあります。

太さだけでなく、ロングシースやショートシースなどの長さの違いもあります。また、アイアンメタルシースなど硬いシース、シース自体が薄く、ガイドカテーテルを挿入してもシースから採血ができるグライドシースなどもあります (手技時間が長くなる場合はシースから採血 [とくに ACT 測定] などを行うこともあります)。

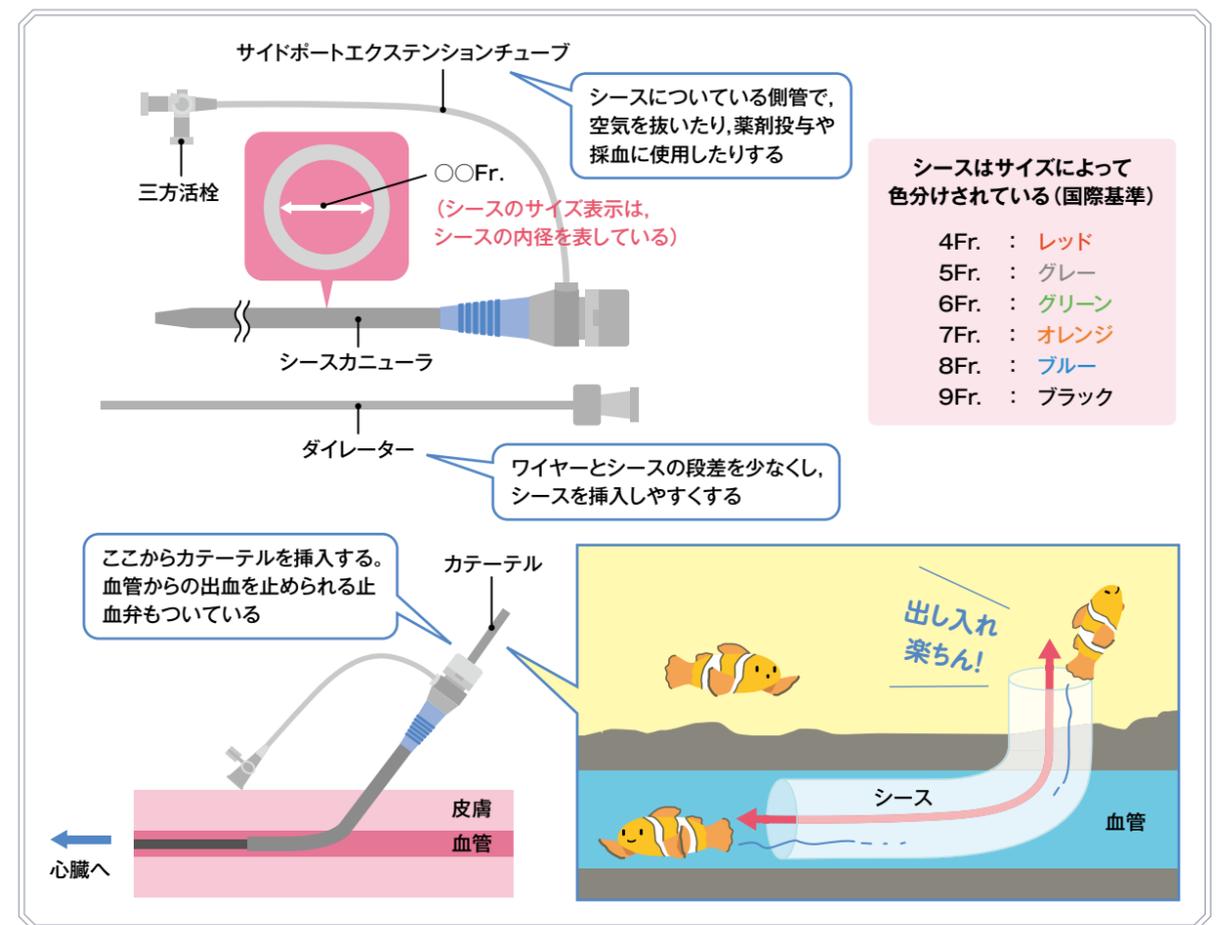


図1 シースイントロデューサー

※1 Fr. とは? Fr. (フレンチ) はシースやカテーテルの太さを表す単位です (1Fr. = 0.33mm)。